徳地町報

①
昭和35年4月15日発行
第55号

発行所　徳地町役場
発行者　徳地町長　村積
編集者　河村
印刷所　今澄印刷所

町広報は、あなたと町政の仲をとりもつのが使命です。
町建設と発展のためにあなたのご意見やご希望など何でもかまいませんから、どしどしお寄せください。

当初予算額　一億四千202万三千余円

町有林の経営計画などきまる

定例第一回町議会は、三月二十六日出雲公民館に招集せられ、全議員出席、町より町長、助役、収入役はじめ各参与が出席して開会、別掲の町長施政方針が▽▽▽

農林漁業振興資金の制度かわる

貸出しも二倍に

手続きも手軽に早くなる

県農林漁業振興対策資金の制度が、四月一日から変りました。

最近農業生産動の高まりにつれて土地改良、乳牛、トラクターの購入などの経営の合理化を推進する意欲がさかんになりました。

農林業等への補助金の交付金制度が、除々に融資制度へ移行しつつある反面、農林振興への資金需要は増してきており、県下全般では、融資額が三倍にも増えてお

り、またほとんどの市町村で新生計画など地域の農林漁業の振興計画がたてられています。

そこで今度の改正では、振興資金の対象になっていた事業のうち、制度の上でも、また得策の資金需要の面からみても、他の金融制度で処理できるものは振興資金の対象からはずされています。

参考までに対象事業をあげてみますと

1. 土地改良事業
2. 畜産果樹苗木苗木導入
3. 家畜導入
4. 病害虫共同防除
5. 林業用機具の取得
6. 林道の造成改良及び復旧
7. 水産関係諸施設の造成改良
8. 復旧

トラクターなどは改良資金へ

今まで振興資金で取扱っていたトラクターなど農機具、畜舎、堆肥舎など関係事業への融資は「農業改良資金」で取扱うことになりました。

このため農業改良資金のとれらの事業については融資額は、今まで農創資金「自作」でより相当規模に拡大せられるわけです。

くわしいことは、町経済課へご相談ください。

資金の対象になる事業

そこでこんどの改正では、これまでこの調度で対象にしていた事業のうち、制度の上でも、また得策の資金需要の面からみても、他の金融制度で処理できるものは振興資金の対象からはずされています。

参考までに対象事業をあげてみますと

1. 土地改良事業
2. 畜産果樹苗木苗木導入
3. 家畜導入
4. 病害虫共同防除
5. 林業用機具の取得
6. 林道の造成改良及び復旧
7. 水産関係諸施設の造成改良
8. 復旧

トラクターなどは改良資金へ

今まで振興資金で取扱っていたトラクターなど農機具、畜舎、堆肥舎など関係事業への融資は「農業改良資金」で取扱うことになりました。

このため農業改良資金のとれらの事業については融資額は、今まで農創資金「自作」でより相当規模に拡大せられるわけです。

くわしいことは、町経済課へご相談ください。

融資制度全体の簡素化

この制度改正で、振興資金の対象事業は、他の金融制度との関係で相当調整せられました。

現在の農林漁業関係の金融制度は、相当復雑で、農業関係だけでも「振興資金」のほかに「農業改良資金」「農林漁業資金（公庫資金）」「第番農業創設資金」「自作農創設資金」……など多種類にわたっています。

そこで農家の方々も、どの資金を利用したらよいか、大変困っておられるというのが実情です。

最近は振興資金の融資規模が広がり、またほとんどの市町村で新生計画など地域の農林漁業の振興計画がたてられています。

そこで今度の改正では、振興資金の対象になっていた事業のうち、制度の上でも、また得策の資金需要の面からみても、他の金融制度で処理できるものは振興資金の対象からはずされています。

具体的に一いつ「だれ」に資金を貸すかなど、運営のくわしいことは、市町村ですることになっております。

そこで今後振興資金を借りる場合、市町村へ書類を提出し、市町村役場で取扱うので、手続や書類も簡素化され、決定事務も早くなるわけです。

融資制度全体の簡素化

この制度改正で、振興資金の対象事業は、他の金融制度との関係で相当調整せられました。

現在の農林漁業関係の金融制度は、相当復雑で、農業関係だけでも「振興資金」のほかに「農業改良資金」「農林漁業資金（公庫資金）」「第番農業創設資金」「自作農創設資金」……など多種類にわたっています。

そこで農家の方々も、どの資金を利用したらよいか、大変困っておられるというのが実情です。

保温折衷苗代の管理

水稲早期栽培のコツ

除紙までの水のかけひき

種まきをすまして、温床紙をかけ終ると、踏切溝に八分目ぐらい水を引き入れましょう。

この水の管理が大切で、床面に水が上るようでは、床の温度の上昇や保温がおさえられて、苗クサレ病の原因になりがちです。

水の管理では、まず排水口に水位の調節ができる板などを設備して、常に水位が一定となるように、大雨のおそれのある時は開放して、絶対に水位をあげないことが肝心です。

雨後の管理

雨の後では温床紙の上に水がたまるが、このまま放っておくと、この部分の温度が上らなかったり、発芽後は苗疲れの原因となったりして、苗が不そろいになり、部分的にハゲて苗不足になるので、雨あがりと同時にほうきや雑布などでていねいに除かなければなりません。

温床紙の補修

温床紙が破れた場合はすぐ補修しましょう。

小さい破れでも早くなおさないと破れが大きくなり、鳥害や温度が上らないため、苗の生育がおくれて、不そろいになりますので注意を要します。

除紙の適期

播種を二週間位すると、草丈が五センチ位になり、カマボコ型に温床紙をもち上げます。

この時の苗は、不完全苗を除いて本葉の第二葉がほぼ完全に開いていますが、この時が除紙の適期です。

しかし気温の高低で少しは加減します。

とかく除紙の時期がおくれがちですが、これはムレ苗の原因になるので注意してください。

水稲の肥料は

水稲の早期栽培では、苗代に種をまいてから、およそ三十五日で田植に適当な苗が得られます。

苗代に長くおき過ぎると、田植えして間もなく小さい穂が出て、収量を落す原因になります。

本田の肥料は、一〇アール（一反）当り成分量で、窒素七、五キログラム、燐酸四、五キロ、加里七キロ、堆肥七五〇キロが標準になっていますが、大体もとごえに重点をおいた方が安全です。

しかし水もれのひどい所では硫肥として、窒素の追肥も効果があります。

次にシロカキは苗が小いのでていねいにし、深植をさけなければいけません。

早期栽培が収量をあげるのは穂数が多いことに原因していますので、三、三平方M（一坪）当り七〇～八〇株で、一株四～五本植えの密植にする必要がありましょう。

幼穂形成期ごろになると、紋枯病が発生しはじめますので、このころ有機か素剤の散布が必要です。

最近は萎縮病や稍葉枯病の発生も多くなりましたので、有機燐製剤で、害虫防除を行いましょう。

また早期栽培は、気温の関係で穂の出る時期が年により、まちまちですが、穂が刈り出てから三〇～三五日ごろが刈り取りに好時期ですから、この時期を見逃がさないようにいたしましょう。

三つの意義をもつ早期栽培

早期栽培には

1. 災害をさける。
2. 不良条件を克服する。
3. 米作所得を増大する。

などの大きな意義がありますが二毛作田では、さらにその跡地を積極的に利用して、所に着産の振興をはかるとか、その特産を作るなど、土地の高度利用とこれに伴う収入の増大をはかることも大切なことです。

こうした経営の合理化をはじめ水利や病害虫の防除、苗代対策などに集団栽培、共同作業を進めていくことが大切です。

無医村に診療所できる

県農林漁業振興資金の制度かわる

※宮崎県山国町と徳地町は、無医村のため、山国町の要請で徳地町の診療所を徳地支所として3月21日新発足

※農林漁業者の健康保険滑骨の境界は、山国町の境界は、山国町の境界は、山国町